

## 山形県における理系人材育成プログラムの 10 年

(国立大学法人山形大理<sup>1</sup>・) ○栗山恭直<sup>1</sup>

### A review of ten years of science human resources development programs in Yamagata Prefecture

(<sup>1</sup>*School of Science, Yamagata University*) ○YASUNAO KURIYAMA<sup>1</sup>

In collaboration with Yamagata University and numerous institutions within the prefecture, a program has been established with the objective of developing human resources in the fields of science and mathematics for students at elementary, junior high, and high school levels. This section presents an overview of the initiatives that have been undertaken over the past decade, along with an examination of the challenges that lie ahead.

*Keywords : science education, Chemistry Education, Science Human Resource Development Program*

山形大学では、2017 年から JST の未来の科学者養成講座（1 年間）、公益財団法人中谷財団（3 年間）から支援を受け、2020 年からジュニアドクター育成塾として 5 年間の支援を受けトータル 10 年間県内の理系人材育成プログラムを実施してきた。運営には、県教育庁（高校教育課・義務教育課）、教育センター、県産業労働部、山形市教委の指導主事や主任の方々に最初の 40 人の選考、翌年の研究に進む 10 人の選考に係っていただいた。理学部以外にも地域教育文化学部・工学部・農学部の教員も参加した。株式会社日本電子の電子顕微鏡の講座や山形市野草園での粘菌講座、山寺のフィールドワークなど多くの講座を開催することができた。今回、これまでの修了生にアンケートを送り、その後の進学先やコメント調査を行ったのでここで簡単に報告する。

480 人中 61 人から回答があった。前半のプログラム修了生はすでの大学 4 年生でここ数年の修了生は中学生か高校生である。中学校では、山形大学附属中学校や県立の中高一貫に進学する子がいる。県内の進学高校から医学部（2）、薬学部（1）旧帝大などの難関大学（6）に進学している。

保護者からのコメントを紹介する。

アカデミー参加前、学校の授業に物足りなさを感じ、また科学を共に語り合う仲間もなく、ただインターネットや書籍に一人向かう日々の娘でしたが、アカデミーに参加中は、活動内容や先生方の知識、情熱について家庭で語ってくれるようになり、本当に楽しそうに、生き生きとしていました。現在は、高校の探究学習、特にフィールドワークや実験に積極的に参加し、どの学部に進むのか、真剣に模索中です。素晴らしい機会を娘に与えてくださったアカデミーの皆様に、この場を借りてお礼申し上げます。ありがとうございました。

参考) ヤマガタシステムアカデミー : <https://ysacademy.kj.yamagata-u.ac.jp/>

ヤマガタサイエンスアカデミー : <http://www-sci.yamagata-u.ac.jp/ysa/>